

【別紙1】参加者リスト

カーボンニュートラル行動計画参加者リスト

日本LPガス協会

企業名	事業所名	業種分類	CO2算定排出量※
アストモスエネルギー株式会社			
ENEOSグループ株式会社			
ジクシス株式会社	四日市LPG基地	25	4,228 (t-CO2)
	碧南LPG基地	25	1,291 (t-CO2)
岩谷産業株式会社			
株式会社ジャパンガスエナジー			
全国農業協同組合連合会			

○注意点

・計画参加企業名及び業種分類について記載。
 ※以下の事業者・事業所については、地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法、平成10年法律第117号）の規定により、行政に報告した「エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素」の算定排出量を記載。

- ①全ての事業所の原油換算エネルギー使用量合計が1,500kl/年以上となる事業者（省エネ法の特定事業者）
- ②原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年以上となる事業所（省エネ法のエネルギー管理指定工場等）

※温対法の温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度において、非開示とされた事業所においてはCO2算定排出量の記載は不要。

※原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年未満の事業所については、事業所名を含め記載不要。

○業界分類

- | | | | |
|--------------------------|----------------|---------|-----------------------|
| (1)パルプ | (2)紙 | (3)板紙 | (4)石油化学製品 |
| (5)アンモニア及びアンモニア誘導品 | (6)ソーダ工業品 | (7)化學纖維 | |
| (8)石油製品（グリースを除く） | (9)セメント | (10)板硝子 | (11)石灰 |
| (12)ガラス製品 | (13)鉄鋼 | (14)銅 | (15)鉛 |
| (17)アルミニウム | (18)アルミニウム二次地金 | | (19)土木建設機械 |
| (20)金属工作機械及び金属加工機械 | (21)電子部品 | | (22)電子管・半導体素子・集積回路 |
| (23)電子計算機及び関連装置並びに電子応用装置 | | | (24)自動車及び部品（二輪自動車を含む） |
| (25)その他 | | | |

【別紙2】各企業の目標水準値

各企業の目標水準及び実績値

日本LPガス協会

※独自に目標を設定している企業について、目標及び実績値を記載。

【別紙3】変更点

前年度からの変更点				
項目	年度	変更前	変更後	理由
1. 目標指標				
2. 目標水準	2022年度	2030年度のLPガス輸入基地、二次基地におけるエネルギー使用量(系統電力消費量・原油換算)を、2010年度比9%削減する。 (前提)エネルギー換算係数: 94.8[GJ/万kWh]	2030年度のLPガス輸入基地、二次基地におけるエネルギー使用量(系統電力消費量・原油換算)を、2010年度比10%削減する。 (前提)エネルギー換算係数: 94.8 [GJ/万kWh]	会員会社の努力による削減可能範囲は極めて限定的であるが、遮熱塗料等の検討や更なる運転効率の改善など微々たる効果かもしれないが、実施できる余地がある。
3. 前提条件				
4. 想定しているBAT				
5. データの取扱				
6. 業界間バウンダリー				

※※上記6項目について変更が生じた場合は、変更年度と変更前後の情報、変更する理由を記載。前年度からの変更点のみならず、過去の変更情報がある場合、変更情報を累積して記載し、遡って確認できることにする。また、行は必要に応じて追加すること。

【別紙4-1】実績(基準年度)

生産活動量、エネルギー消費量、エネルギー原単位、CO₂排出量、CO₂排出原単位の実績と見通し

○宋

○2020年度までの見通し

※准比率/達成率・2030年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。准比率/達成率【基準年度目標】 = (基準年度の実績水準 - 当年度の実績水準) / (基準年度の実績水準 - 2030年度の目標水準) ×100(%)

*想定比：当年度について予め想定した水準（基準年度からの削減額）を100%として、想定水準と実績との比率。想定比[「基準年度目標」] = (「基準年度の実績水準-当年度の実績水準」) / (「基準年度の実績水準-当年度の想定した水準」) ×100(%)

*カバー率実績（企業数）：カーボンニュートラル行動計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数（アンケート回答社数等）の団体加盟企業数に占める割合

生産活動量、エネルギー消費量、エネルギー原単位、CO₂排出量、CO₂排出原単位の実績と見通し

【備考】
※過去実績(成績)・2020年度の目標水準(基準年度からの割減額)を100%として、目標水準と実績との比率

¹⁰ 例如，周密《金華錄》卷一「人情」云：「人情之行節計而取其全者也。」周密所言「人情」應指人情世故（即「人情」），「人情算數」即指人情世故。

【別紙6】対策リスト

実施した対策、投資額と削減効果										
	番号	対策名	対策内容	対策実施率	投資額		(年間)		(投資期間全体)	
					数量	単位	数量	単位	数量	単位
2021年度 まで	1	照明LED化			121770	千円	76	t-CO2		
	2	空調機更新			19,800	千円	21	t-CO2		
	3									
	4									
2022年度	1	照明LED化			38,420	千円	13	t-CO2		
	2	空調機更新			1,510	千円	27	t-CO2		
	3	BOGボトムオーブン								
	3	サイクルに運用変更			19,020	千円	9	(3か月)		
	4	電気料金再エネエコ								
2023年度	4	プラン加入			5,047	千円	1569.67			
	5									
	1	照明LED化			45,000	千円	40	t-CO2		
	2	空調機更新			4,700	千円	8	t-CO2		
	3	ポンプのインバーター化			未定		未定			
2024年度	4									
	5									
	1									
	2									
	3									
	4									
	5									

※1 業界として特に重要だと考えている対策を毎年度3~5つ程度記載。

※2 対策実施率は、業界内での対策の実施状況（最新設備の導入率等）を記載。

※3 2022年度実施の対策は必ず記入すること。

業務部門(本社等オフィス)の対策と削減効果							
	対策項目	削減効果					
		CO2削減量 (t-CO2/年)			エネルギー削減量 (MJ/年)		
		2022年度	2022年度まで	2023年度以降	2022年度	2022年度まで	2023年度以降
照明設備等	昼休み時などに消灯徹底化	1.18	2.59	1.18	24,257	53,473	24,257
	退社時にはパソコンの電源OFFの徹底化	0.27	2.81	0.30	5,495	57,915	6,188
	照明のインバーター化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	高効率照明の導入	10.15	10.28	18.82	209,432	212,118	388,510
	トイレ等の照明の人感センサー導入	0.00	0.01	0.00	0	288	0
	照明の間引き	0.00	875.92	0.00	0	18,081,000	0
空調設備	冷房温度を28度設定にする	0.00	0.20	0.00	0	4,034	0
	暖房温度を20度設定にする	3.35	3.49	3.35	69,107	71,966	69,107
	冷暖房開始時の外気取り入れの停止	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	空調機の外気導入量の削減	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	氷蓄熱式空調システムの導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
エネルギー	業務用高効率給湯器の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	太陽光発電設備の導入	2.31	2.31	2.31	47,700	47,700	47,700
	風力発電設備の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
建物関係	窓ガラスの遮熱フィルム	0.30	0.30	0.30	6,291	6,291	6,291
	エレベータ使用台数の削減	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	自動販売機の夜間運転の停止	0.00	0.00	0.00	0	0	0